案件化調査
ベトナム国　院内感染リスク軽減に向けた医療用抗菌システム普及

企業・サイト概要

- 提　案　企　業：　株式会社信州セラミックス
- 提案企業所在地：　長野県木曽郡大桑村
- サイト・C/P機関：ベトナム国ハノイ市・ホーチミン市
  バックマイ病院（ハノイ）、チョーライ病院（ホーチミン）

左：アースプラス加工されたユニフォーム・リネン
右：細菌・ウィルスを増殖抑制するリネン

ベトナム国の開発課題

保健医療体制の未整備（ベッド占有率180%、医師不足等）、及びそれに伴う感染症の拡大が喫緊の開発課題である。近年、院内感染率が上昇している。

中小企業の技術・製品

当該提案企業が製造する「アースプラス」は、抗菌、抗ウィルス、消臭を特色とする環境衛生材料であり、医療用カーテン、医療介護施設の建材（内装材、タイル等）、感染症対策用マスク、業務用空気清浄機のフィルター、水浄化装置のフィルターとして、病院等で活用されている。

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- JICA普及・実証事業において、主に感染症対策が不充分である中小規模病院への展開を図り、院内感染対策の先進事例としてベトナム国での普及を目指す。
- 院内感染対策の強化による感染症リスクの抑制が期待される。

日本の中小企業のビジネス展開

ベトナム国内にパートナー企業を発掘し、その企業の繊維加工工場向けに液剤タイプの「アースプラス」を販売する予定である。加工後の原反は縫製工場等に販売し、将来的にはベトナム国から日本、アメリカ、ヨーロッパ等の諸外国へ抗菌加工繊維製品の輸出を想定している。